

旭川ユネスコ協会の植樹活動及び森林教室の開催について

令和7年10月18日（土）、旭川市西神楽の「ホテルの里（ホタキラ）」にある「ユネスコの森」において、旭川ユネスコ協会主催の植樹が行われ、植樹終了後は、参加された小学1年から5年生の児童8名と中学生1名の計9名に森林教室を行いました。

この植樹活動と森林教室は、旭川ユネスコ協会が主催し、旭川市西神楽ホテルの会との共催で実施されたものです。



実施に当たり、ユネスコ協会から「植樹指導と森林教室をお願いしたい」との要請があり、当署職員2名が参加しました。

当日は、あいにくの天気で雨も心配したのですが、雨に当たらず植樹を行うことができました。

当署職員は、参加者に植樹の実演・指導を行い、無事にミズナラ苗木20本の植樹が終了しました。

植栽場所が湿地であったため、事前に小型の重機を使用し、客土も行っていました。20本の苗木が今後元気に成長できるよう願っています。

植樹の終了後は、「輪尺」を使用した測樹も行いました。初めて体験する子供たちもあり、子供たちは興味を持って樹木の太さの計測に集中していました。

林内でのプログラム終了後は、参加者全員で記念撮影を行いました。その後、場所を西神楽パークセンター室内へ移動して森林教室を開催しました。



森林教室では、森林には「人工林」と「天然林」があり、北海道の森林は天然林が多いとの話や、「水をたくわえ、海を豊かにする」、「がけ崩れや山崩れを防ぐ」、「空気をきれいにする」などの森林の働きについて話をしました。

また、「素敵な手ざわり、香り」「耐久性が高い」「再生産できる」などの木の特徴や、「林業は循環可能な産業」との話もさせていただき、森林や木材、林業に興味を持ってもらえたのではないかと思います。

最後に、樹木や動物などのクイズを行って終了しました。